

# 恐れてはならない

## ヨシュア記 1:1～9

1:1 さて、主のしもべモーセが死んで後、主はモーセの従者、ヌンの子ヨシュアに告げて仰せられた。

1:2 「わたしのしもべモーセは死んだ。今、あなたとこのすべての民は立って、このヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの人々に与えようとしている地に行け。

1:3 あなたがたが足の裏で踏む所はことごとく、わたしがモーセに約束したとおり、あなたがたに与えている。

1:4 あなたがたの領土は、この荒野とあのレバノンから、大河ユーフラテス、ヘテ人の全土および日の入るほうの大海に至るまでである。

1:5 あなたの一生の間、だれひとりとしてあなたの前に立ちはだかる者はいない。わたしは、モーセとともにいたように、あなたとともにいよう。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。

1:6 強くあれ。雄々しくあれ。わたしが彼らに与えるとその先祖たちに誓った地を、あなたは、この民に継がせなければならないからだ。

1:7 ただ強く、雄々しくあって、わたしのしもべモーセがあなたに命じたすべての律法を守り行なえ。これを離れて右にも左にもそれではならない。それは、あなたが行く所ではどこでも、あなたが栄えるためである。

1:8 この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにしるされているすべてのことを守り行なうためである。そうすれば、あなたのすることとで繁栄し、また栄えることができるからである。

1:9 わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おのいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」



## 約束の地へ

### 約束 → 信仰 → 実践

ヨシュアの率いるイスラエルの民は約束されたカナンの地に向かって、ヨルダン河を渡る。その地は神が彼らにすでに与えてくださった地であり、彼らの使命はそれを信じて自分たちの足でその地を踏んで、自分たちの所有とすることであった。そのためには異邦の民を追い出して、そこを占領しなければならなかった。

## ヨシュア記の「カナンの地」とエペソ書「天の所」との類比

神はキリストにおいて、天にあるすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。エペソ1:3

ヨシュア記とエペソ人への手紙とは目を見張るような類比がある。ヨシュア記は新約聖書のより豊かなクリスチャン生活を予型として示している。エペソ人への手紙の「天にある」あるいは「天の所」という句は霊的カナンであり、キリストにある高次の霊的祝福の領域を示している。

## ヨシュア記の構造

任命

侵入

征服

占領

継承

## 主の教えを口ずさむ

ヨシュア1:8 この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにしるされているすべてのことを守り行なうためである。そうすれば、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるからである。

神の教え(トラー)を「(昼も夜も)口ずさむ(=思い巡らす)」ことは、詩篇1篇3節に出て来る動詞「ハーガー」と同じ動詞が使われている。「ハーガー」は瞑想用語である。神のみことばを思い巡らすことを怠る時、霊的な力を喪失する。「強くあれ、雄々しくある」ためには、神のことばを思い巡らすことが不可欠である。

詩篇1:2-3 まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ。その人は、水路のそばに植わった木のようにだ。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える。

## 恐れてはならない

### ① 自分自身の存在に対する不安と恐れ

イザヤ43:1 あなたを造り出した方、主はこう仰せられる。・・・あなたを形造った方、主はこう仰せられる。「恐れるな。わたしがあなたを贖ったのだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。

### ② 死への恐れ

ローマ6:23 罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

ローマ3:23-24 すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。

イザヤ1:18 「さあ、来たれ。論じ合おう。」と主は仰せられる。「たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。たとい、紅のように赤くても、羊の毛のようになる。

### ③ 失うことの恐れ

2 コリント4:16~18 ですから、私たちは勇気を失いません。たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。私たちは、見えるものにではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。

1 コリント13:13 いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。

### ④ 将来に対する恐れ

エレミヤ29:11 わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。——主の御告げ。——それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

マタイ6:33-4 だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。